

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	環境アセスメント論					授業形態	講義		
科目コード	710016	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	浦郷 昭子							ICT活 用	
授業概要	<p>本講義は、持続可能な発展実現のために環境アセスメントというシステムが果たす役割を理解することを目的としています。「環境とは何か」、「環境影響とは何か」、「環境アセスメントとは何か」を、順を追って学んでいきます。環境を守りたいけど経済活動も重要な時、どうやって進むべき道を探るのか。同じ環境でも、動物や植物の目から見る環境は異なり、同じ人間でも個人によって何を重要と考えるのかも異なります。一つの物差しでは測りきれない、一つの正解があるわけではない場合、環境アセスメントがどういった役割を果たすべきかを考えていきます。</p> <p>講師は、民間の環境コンサルタントとして国内外で環境アセスメントに20年以上従事しています。また近年では国外での環境アセスメントのための国別ガイドブックも作成しています。そのため、ルールや概念だけでなく、実務上の課題や国外での事例も紹介します。本講義で学んだ内容は、将来、行政の立場から環境に関わる場合、民間の開発事業者として環境配慮に関わる場合、民間の環境調査や環境コンサルタントとして環境に関わる場合、市民として地域の環境問題にかかわる場合など、様々な場面で役立つ要素を含んでいます。</p>								
関連する科目	本講義は、持続可能な発展実現のために環境アセスメントというシステムが果たす役割を理解することを目的としています。								
授業の進め方 と方法	<p>授業は4日間の集中講義形式で行い、講義と演習、質疑応答を交えながら進めていきます。</p> <p>演習ではインターネット等を使って情報を集めながらレポートを書いてもらうものや、グループワーク、グループ発表もあります。天気の良い場合は野外観察も行います。</p>								
授業計画 【第1回】	第1回 生物環境： 生物にとっての環境とは何か、どのような生育/生息条件が必要なのかを学びます								
授業計画 【第2回】	第2回 地球環境： 水資源、鉱物資源、土壌、人口、貧困など、生物以外の環境関連項目について学びます								
授業計画 【第3回】	第3回 生物多様性/生態系に与える環境影響： 人間の活動が生物多様性/生態系に与える影響について学びます								
授業計画 【第4回】	第4回 人の生活に与える環境影響： 人間の活動が人の生活に与える環境影響について学びます								
授業計画 【第5回】	第5回 環境アセスメント： 環境アセスメントという概念、システムについて学びます								
授業計画 【第6回】	第6回 環境アセスメントの演習： 実際の環境アセスメントのレポートを読みます								
授業計画 【第7回】	第7回 環境アセスメントの問題点： 環境アセスメントの抱える問題点について学びます								
授業計画 【第8回】	第8回 ミティゲーション： 環境影響を回避・最小化・代償するための事例を学びます								
授業計画 【第9回】	第9回 リスク： 環境アセスメントとリスクの関係を学びます								
授業計画 【第10回】	第10回 植物の環境アセスメント： 植物調査や影響予測の具体的方法を学びます								
授業計画 【第11回】	第11回 生態系の環境アセスメント： 生態系の影響評価の具体的方法を学びます								

授業計画【第12回】	第12回 戦略的環境アセスメント： 戦略的環境アセスメントを学びます
授業計画【第13回】	第13回 戦略的環境アセスメントの演習： 実際に戦略的環境アセスメントのツールを使って演習します
授業計画【第14回】	第14回 海外の環境アセスメント： 海外で行われている環境アセスメントを学びます
授業計画【第15回】	第15回 SDGsと環境アセスメント： 環境アセスメントとSDGsの関係について学びます
授業の到達目標	1. 地球規模での環境問題を理解する【基礎知識の習得】 2. 人間の開発行為の引き起こす環境問題を理解する【基礎知識の習得】 3. 環境影響評価というシステムの成り立ちと法制度を理解する【基礎知識の習得】 4. 戦略的環境アセスメントで使われる多基準分析を使い、多面的な分析の意味を理解する【多角的思考の訓練】 5. 動植物などの生息条件を調べ、生息環境の脆弱性を理解する【基礎知識の習得】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	〈予習〉なし
授業時間外学習【復習】	〈復習〉授業中に書ききれなかったレポートや、調べきれなかったこと、読み切れなかった文書は、授業時間外に各自行う。
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付けて返却する
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 (1) 提出レポート 70点 (2) プレゼンテーション 30点
テキスト	
参考書	「環境アセスメント読本」ぎょうせい 「環境アセスメント学の基礎」恒星社厚生閣
備考	